平成24年度の主な活動

平成24年

４月２日（金）9:30～役員会　センターパレス（基本的には役員会は毎月第１土曜日午前中、新町会館で）

４月９日（月）13:30～津検定協議会（奥田・佐野）　津庁舎へ
以後14回程は、連続して馬場代表が出席。

４月16日（月）9:30～11:00 24年度総会資料印刷など

４月21日（土）10:00～谷川士清の会24年度総会「まなびの栞」創刊号発行　図書館２階研究会議室
来賓　津市教育委員会生涯学習課　松尾　篤氏、津市商工観光部　山本　晃氏

５月10日（木）9:30～11:30　士清まつり（一般公開）

① 講演：「谷川清逸と稲垣定穀の交流」講師中川　豊氏（帝塚山大学専任講師）於；士清旧宅
近所の商人で「納所屋」という屋号の稲垣家へ清逸はよく出入りしており、特に地理天文学者でもあった定穀とその姉に当たる妙清尼さんに可愛がられていたらしく、清逸がその愛用の桐火桶を遺品としていただいた御礼に追悼の短歌を捧げている事、他に谷川家からの借金の証文がいくつも残っていることなど興味深いお話しだった。

② お茶会と史跡めぐり（２班に分けて）　呈茶券300円～記念タオル進呈

会員勉強会　全６回（第３土曜日10時～　図書館研究会議室で）（内容詳細は「まなびの栞」第２号参照）

一「『倭訓栞』の中の万葉歌について」講師；片山　武氏（会員・元金城学園大学講師）

①６月16日（土）『倭訓栞』中の「萬葉集にあり」という言葉について、士清の説明を「時代別国語大辞典上代編」や新全集その他の万葉集の諸注釈書における説明と比較して検証し、考察。
「えたり」「えもなづけたり」「おかし」「おき」「おきさけ」「おきそのかぜ」

②７月21日（土）「おくつき」「おくどこ」「おくのて」「おきぶるし」「おと」

③９月15日（土）「おなじ」＝「おやじ」「おとひ」「おどろく」「おふ」「おほ」など

二④10月20日（土）山本浩子会員「『倭訓栞』に載せる外国の地名―『増補語林』本を使って」

三⑤12月15日（土）三重大学大学院修士課程生　前田美香さん「清逸本『倭訓栞』の性格」
稿本の一つである清逸本（天保10年３月成立）について、（１）稿本の中で唯一全巻揃っている。（２）整版本前編と中編の間に位置する。（３）整版本の底本である景槙本とほぼ同等のもので、整版本として分割されたり「節略」されたりする前の状態を保っている稿本なので、士清の考えを探るてがかりとなる。

四⑥25年１月19日（土）会員・日本文芸家協会会員津坂治男氏「『和訓栞』の出版はなぜ手間取ったのか」

士清講演会（会員募集兼ボランテイア養成講座として実習も）

一　６月22日（金）①（10:00～11:30）// ②（11:30～12:00）津市図書館２階研究会議室

①　講演：「士清・高虎・八兵衛・芭蕉―丸之内の銅像余話」講師；西田久光氏（ふるさと新聞会長）
国道23号線沿いに建っている４偉人の銅像の話を中心に、西島八兵衛等と比較して話された。

②　講演：「谷川士清の会の歩みと現状」講師；馬場幸子（当会代表）

二　６月30日（土）10:00～11:30　津市図書館２階研究会議室

①　講演：「日本書紀通證について一谷川士清の神代観」講師；松本　丘（皇學館大學准教授）

②　ビデオ観賞「士清と八町」（約15分）

三　７月７日（土）10:00～11:00　ガイド実習（谷川士清旧宅・反古塚・士清の墓・福蔵寺・神宮寺・六阿弥陀）

７月29日（日）9:00～11:30　親子洞津谷川塾(小学校４・5年生と保護者対象)　教育委員会と共催

（１）9:10～9:30 講話；「生きつづける谷川士清」竹内　令会員　（谷川士清の業績が今に続いていること）

（２）9:40 ～10:30大型紙芝居「峠の飛脚」と　からから布芝居「狐付きの男」（あの津っ子会員による実演）
10:50　休憩中旧宅内展示説明など　（３）11:00～史跡巡り（会員による案内）

７月30日（月）「津ふるさと学検定ガイドブック」発売　１部５００円

10月28日（日）　第１回ふるさと学検定試験実施

12月７日（金）会員研修旅行（内藤記念くすり博物館見学と薬膳弁当）岐阜県各務ヶ原市（＊３面に記事）

12月23日（土）谷川法子さん（士清子孫）旧宅へ。